



高輪台 2月号



港区立高輪台小学校

〒108-0074 東京都港区高輪2-8-24 <http://takanawadai-es.minato-kyo.ed.jp/>
TEL: 03(5447)0616 FAX: 03(5447)5335

㊦くましく ㊧しこく ㊨かよく ㊩くわくする ㊪れにとっても ㊫ごちのよい 小学校

向き合える力、認め合える力

副校長 内田 理恵

先月、アメリカ野球殿堂入りしたイチロー氏のインタビューで、記者394人の満票に1票足りなかったことに対してどう思うかという質問がありました。たくさんの質問に回答された中の、一部の言葉ではあるのですが、「よかったと思う」と答えた後に続けられた言葉は、とても印象的な内容でした。「いろいろなことが足りない、人って。」「それを自分なりに自分なりの完璧を追い求めて進んでいくのが人生だと思うんですよ。」そして、「不完全であるというのはいいなど。生きていく上で不完全だから進もうとできるわけで。そういうことを改めて考えさせられるというか、見つめ合えるというか、そこに向き合えるのは良かったなと思います。」と言言葉を続けました。

イチロー氏の殿堂入りは、大変な偉業です。1票については、本当はどうということもないことのような気がします。しかし、記者からの質問に対して、数字的なものについて補いようがないもので努力とかそういうものではないとした上で、「これは別な話なんですけど」とゆっくりと噛み締めるように、人として不完全であることも肯定的にとらえられる発言があったのです。

これらの言葉に込められた思いや考えは、受け止める人によって様々だと思いますが、私は自分に置き換えて考えてみました。何かできた時の喜びや理想に近付けたときの嬉しさを感じるのは、私が不完全であったり、できなかつたりすることを知っているからです。最初からできている時よりも、自分の不完全さに肯定的に向き合い、どう進めればよいか考える力をもって自らの働きが報われれば、その喜びもひとしおになります。肯定的に向き合うことができれば、より自分に合った可能性を追求でき、豊かな成長につながるのではないのでしょうか。一方、できないことに向き合うこと自体にも本人の意思や力が必要です。自分一人で考えてもうまくいかない場合や、自分の不完全さに向き合うのが難しかったり気付かなかつたりする場合には、周囲が支えることで実現できることがあります。その場合、周囲の環境が大きな力になることも多いと思っています。

お互いを認め合う雰囲気や周囲があると、安心して自分に向き合うことができ、個々が進む力を後押ししてくれます。学校教育の中に、「支持的風土」という言葉がありますが、これは「認め合い、助け合い、期待をかけ合い、高め合う、温かい風土」のことを言います。主に学級環境作りで目標とする環境です。高輪台小学校でも私が赴任する以前より、教育の目標の一つにこの「支持的風土」の醸成が掲げられ、安心して自分らしさを発揮し、自分の可能性を追求できる集団を作ること目標のひとつにしています。学校は安心して間違えてもよい場所であり、次の成長につながる場所でありたいです。言葉でいうのは簡単ですが、実際に様々な子どもたちや教職員の集団の中で全ての学級がこの環境を作っているかという点、なかなか難しいところがあります。一人の力で成し得ることもありません。子どもたち、保護者の方々、地域の方々と共に、教職員も悩みながら協力しながら、認め合い、自分も相手も大切に作る温かい環境づくりをめざしていきたいと考えています。自分と向き合える力は、互いを認め合う力と通じているはずで



お知らせとお願い

公共交通機関利用の際のマナーについて

入学の際の案内にある通り、原則徒歩での通学ですが、生活の中で子どもたちがバス等を利用することもあるかと思えます。公共の交通機関を利用する際には、他の乗客の方々の迷惑にならないように利用することが大切です。特に子どもだけで利用させる場合には、ご家庭でしっかりマナーを守らせていただきますよう、お願いします。

【マナーの一例】

- ・車内では話さない・不要な動きは危険なのではない
- ・大きな荷物は体の前に持つ
- ・出入り口付近に固まらず、奥まで詰めて乗る
- ・降車の際は、「すみません」と一声かけて道を開けてもらうなど

2月10日は、開校記念日です。通常の授業日になりますので、いつも通り登校してください。また、当日は3年生の次年度に向けたクラブ見学もありますので、1、2年生は5時間授業、3年生以上は6時間授業になります

2月の目標

寒さに負けず元気に過ごそう

生活指導部

暦の上ではもうすぐ春ですが、毎日の寒さはこれからさらに厳しくなります。

登下校時、ポケットに手を入れて歩く子を見かけます。転んだときに手をつくためにも、寒い日には手袋を使うように声をかけています。休み時間には、ボール遊びや鬼ごっこをして、寒い中でも思い切り体を動かしている子がたくさんいます。適度な運動をすることで、病気にかかりにくい体力をつけることができます。「寒いから」と、つい室内にこもりがちになりますが、限られた外遊びの時間を、楽しく、健康に過ごせるよう、指導していきます。

あじさい学級

あじさい学級担任 下田 あゆみ 須藤 大貴

あじさい学級では、「茶道」の学習を高松中内の茶室で学習しています。年が明けて初めての学習では、「初釜」を行いました。講師の先生のお点前を見て学び、静かに落ち着いた気持ちで真のお辞儀から授業が始まります。

日頃から、上級生がお手本となる所作を見せてくれます。下級生は、茶室への入り方や歩き方、襖の開け閉めの仕方、お茶やお茶菓子のいただき方、立ち居ふるまいなどについて、じっくり見て学習しています。

今回は、七福神のお茶菓子がふるまわれ、それぞれの絵柄を見ながら、楽しいお茶会となりました。



席書会・書き初め展

書写担当 小林 華恵 山田 陽子 笹木聡美

年が明け、各学年で席書会を行いました。1・2年生は硬筆、3～6年生は毛筆の作品を仕上げました。どの子もよく集中し、よい緊張感をもちながら、新年の思いを乗せて一画一画心を込めて書いている様子が見られました。作品は、1月16日(木)～21日(火)の書き初め展で展示されました。「すごい」「上手。」と言いながら、じっくりと他学年の作品に見入っている子がたくさんいました。期間中、多くの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。



セーフティ教室

生活指導部 小野剣

1月21日(火)に、セーフティ教室を行いました。セーフティ教室は、非行防止・犯罪被害防止についての理解を深めることと、保護者・地域住民・関係機関担当で意見交換を行い、非行を防ぎ犯罪被害から児童を守る具体的な取り組みについて検討する、という二つのことをねらいとしています。

1年生

○高輪警察署の方から、「知らない人にはついていかない」をテーマにお話を伺いました。



セーフティ教室では、スケートボード等の遊び道具に道路で乗ってはいけないことを学びました。また、「いかのおすし」で特に知らない人の車に「乗らない」ことが大事だと思いました。いつも持っている防犯ブザーが壊れていないかも確認して、安全に気を付けて生活していきたいです。

(1年生)



2年生

○危険学プロジェクトの方をゲストティーチャーにお招きして、「家の中や学校内の危険」について学びました。

危険は身近なところにあることが分かりました。角に頭をぶつけないためには、安全な座り方を心がけることが大事であることが分かりました。また、掃除や班行動で机を運ぶときは横を持って運ぶと指を挟んでしまうかもしれないので、安全に気を付けてけがをしないように運ぶことが大事であることを学びました。

(2年生)



3年生

○教育ネットの方をゲストティーチャーにお招きして、「SNSの使い方」と「ゲームが私生活に与える影響」について学びました。

情報モラルの話聞いて、どのようなメッセージの返信の仕方や使い方がわかりました。今後ゲームをする際は30分で終わらせる設定などをして対策したいです。

(3年生)



4・5・6年生

○KDDIの方をお招きし、SNSの安全な利用の仕方、インターネットで出会う人やネットゲームの危険性について動画を通して学びました。

インターネットで知り合った人とは、あまり関わらないこと、ラインをするときは、ちゃんと相手のことを考えてから送ること、ゲームをするときは、約束を守ってやるという3つが大切だと思いました。(4年生)

KDDIの方と一緒にSNSの使い方の約束をし、「大事なことは一人一人ルールを守ることが自分や周りの人を守ることにつながる」ということを確認しました。このセーフティ教室を通じて自分がスマートフォンを持った時には、使用時間やSNSの利用に気を付けたいと思いました。(6年生)

